

長崎県在宅保健事業みつば会 活動状況

長崎県在宅保健事業みつば会
会長 三宅 美恵子

はじめに

長崎県在宅保健事業みつば会は、平成10年2月に在宅保健師等マンパワーの確保を図るとともに、看護(介護)技術や健康教育の研修を行い、地域における保健活動の有効起用に貢献することを目的として発足しました。

県内各地の健康づくり事業に参加し、「見て楽しく、聞いてためになる健康劇」や「健康づくり出前講座」などに取り組んでいます。

会員数

保健師	13名
看護師	12名
栄養士・管理栄養士	27名
歯科衛生士	22名
会員総数	74名

平成27年6月1日現在

1年間の主な活動

役員会	年5～6回
研修会の開催	年2回
総会	年1回
ブロック別研修会	平成26年度より開始 (2～3回/3地区)
会員による市町支援事業	健康劇/健康づくり出前講座/高齢者サロンへの支援
その他	みつば会通信発行(年1回)

地域での支援希望に応えられるよう、日頃から研修を行っています。研修の中では、4職種が所属している強みを活かしてお互いが情報共有をしながら、今何が求められているのかを把握したり、知恵を出し合ったりしながら実施しています。また、会員より、「数多くある高齢者サロンに支援できるよう、少人数でも実施可能で、会員誰でもできるような支援が大切」という積極的な意見が出されたことをきっかけに紙芝居の作成を検討しています。

明るい地域づくりに貢献できるよう、お互いの資質向上に今後も努めたいと考えています。



平成26年度研修会の様子